

キャラクター名  
Rie・Foverchi 理枝・フォヴァーキ

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	高校生
	モルフェウス			年齢	書類上18歳	性別
オプション						
覚醒	感染	衝動	殺戮	初期侵食率	37	%
出自	使命	経験	人類の調査	邂逅	同行者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	9
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	9
精神	0	1	0			1	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	5		RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
申し子	P	N		
黒瀬久司	P 庇護	N 不安		
根本紬	P 尊敬	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定+LvD								
オリジン:サイバー	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン中、【社会】の達成値+LV*2								
ハンドレッドガンズ	2	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: シーン中、射撃武器装備。種別:射撃 《射撃》 命中:0 攻撃力:+[Lv+4] ガード値- 射程:30m								
カスタマイズ	5	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 《射撃》《白兵》組み合わせた判定+LvD								
アンプリフィケーション	3	5	メジャー	-	-	-	D	
効果: 組み合わせた攻撃+Lv*5 1シナリオ中3回								
クリスタライズ	5	4	メジャー	-	-	対決	100	
効果: 攻撃力+Lv*3 装甲無視 1シナリオ中3回								
コンセントレイト:モルフェウス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv(下限値7)								
創造の御手	1	4	メジャー/リアクション	-	-	-	ピュア	
効果: 組み合わせた判定+5D。1シナリオ中Lv回								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【設定:3行】  
 「Friend for overed childrenと称される計画の際に構想・開発された自律型友好存在アンドロイドです。4人の博士によって生み出されました」  
 「博士たちは私にオーヴァードの子供たちの友達になるという使命を組み込みました。しかし、うちの3人の博士は人格が次第に壊れていきました。私は彼らによって一種の暴走プログラムとレネゲイドウィルスの入ったカプセルを埋め込まれ、本来の私の命令と乖離した殺戮者の力を持つことになってしまいました」  
 「今はメンバーの一人であった玲博士と共に一般人の中に紛れて生活しています。逃亡の際にはシザーリオという少女？に、今の生活を送る際にはプランナーと名乗る少女？に助けられました。彼らとはそれきり腐れ縁のような関係になりまして何かと関わりがあります。正直なところ、あまり喜ばしいことではありませんが」

【設定:詳細】  
 元UGNの研究者4人が『超えてしまった子供たち』とそれを取り巻く環境を変える為に立ち上げられたのが上記のプロジェクト。  
 極限まで人に近づいた存在が、彼らを悪意や害意から守り人間と同様に育てていくという最終目標を掲げたこの計画は彼らが想像していた以上に上手く進行していき……それ故に計画は半ばで頓挫した。3人の博士は衝動に抗うことができずジャームと化し、FHエージェントに差し金で殆ど完成していた彼女にオーヴァードを無条件に殺戮させる悪性プログラムとオーヴァード、ないしはジャームと化するだけのレネゲイドウィルスを彼女に埋め込む。結果として彼女はレネゲイドビーイングとなり、自我を持つ。当初の目標であった人間に極限まで近づくことにこの時点で成功を遂げるのだった。彼らの最初の想いは裏腹に。  
 レネゲイドビーイングとなった彼女だったが、レイ・フォヴァーキによって施設から連れ出される。当然、FHの追撃に見舞われるがこの時に表面に出現したシザーリオ、何故かいたプランナーによって助けられる。

現在は、レイと同様しつつ人間に近づく為に高校に通い人間を勉強している。学校での成績は優秀の一言であるが、時折見せる人間みのない言動や感情の見えない姿のせいで高校では謎の女という扱いを受けている。それでも、交友関係は良好である。  
 レネゲイド関係の事件に極力関わりたいくないが、プランナーの依頼やレイの提案を飲んだときのみ渋々解決や被害の最小化の為に動いている。基本的、UGN、FH双方に加担する気は微塵もなくレイや知人たちの日常を守る事を目的として活動する。